

ビットコインの将来性 —仮想通貨の光と影—

麗澤大学 中島真志

要 旨

「ビットコイン」という仮想通貨が 2009 年に登場してから、8 年以上が経過した。この間、「仮想通貨は、通貨に革命をもたらす」とか「仮想通貨が世界を変える」といった論調で取り上げられることが多かったが、果たしてそういう理解でよいのであろうか。

ビットコインについては、一般的に、以下のような認識が持たれている。

- ①ビットコインは、世界で多くの人々が利用している
- ②ビットコインは、世界中で取引されている
- ③ビットコインには高い信頼性がある
- ④ビットコインは、お金として使われている
- ⑤ビットコインが発行上限に達するのは 120 年後である
- ⑥ビットコインの取引量に限界はない
- ⑦ビットコインは、通貨に革命をもたらし、世界を変える

本報告では、ビットコインを支える技術、ビットコインの安全性を支える仕組み、新規発行に関するマイニング（採掘）の仕組みなどについて概観したうえで、こうした点について検証を加え、ビットコインの将来性について考察することとする。

また、「ビットコインは、果たして通貨なのか？」という論点についても、金融論的な観点から検討を加える。